

2023年度

社会福祉法人緑友会 事業報告

- I 法人本部
- II みどり園 [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- III 清川ホーム [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- IV 伊勢原ふたば保育園 [認可保育所・地域育児センター事業]
- V 本厚木ふたば保育園 [認可保育所]
- VI げんき家 [共同生活援助事業]
- VII つくし [就労継続支援B型事業]
- VIII アトリエ ヴェルデ [就労継続支援B型事業]
- IX つくし相談室 [相談支援事業]
- X 施設間連携室

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月31日

I 法人本部

【総括】

2023年5月に新型コロナウイルスは5類に移行しましたが、引き続き感染防止の徹底に努めている中、8月にみどり園、2月に清川ホームでクラスターが発生するなど、改めて感染拡大の怖さを実感し、感染防止の注意喚起を行っております。慌てることなく、これまでのクラスター発生時の経験を活かした対応をしております。

2023年度は、入所施設ではクラスターの発生による短期入所や日中一時の利用制限、施設利用者の入院や高齢者施設への移行などから、利用収入の改善が難しい1年でしたが、保育園については、事業収入の改善が図られたことや、3年目となった毎月の総務部と各施設の執行状況の点検も充実し、法人全体としては、事業活動収入の確保や適正な支出の徹底した効果も収支の改善に現れてきました。

大きな課題である人材の確保についても、ハローワーク、求人情報サイト、求人広告、ポスティング等々多様な媒体を利用して人材の確保に努め、安心安全なサービス提供体制を整えることができました。

また、今後の危機管理への備えとして業務継続計画（BCP）を策定いたしました。1月に能登半島地震が発生したことから課題等を確認しながら見直し作業に取り組んでまいります。

1 評議員会

令和5年 6月27日 **【議案】**
・2022年度事業報告及び収入支出決算について
・理事の選任について
・監事の選任について

令和6年 3月28日 **【議案】**
・2024年度事業計画及び予算について
【報告事項】
・4月からの体制について
・避難協定について
・2024年度の評議員の開催予定について

2 理事会

令和5年 4月26日 **【報告事項】**
・4月1日時点での入所者・園児等の状況について
・2022年度第3回評議員会について

令和5年 5月31日 **【議案】**
・金融機関からの借入（6月賞与支給等に係る一時借入金）について
【報告事項】
・みどり園：利用者のご逝去について
・イベント開催や実習生の受入れ等について

令和5年 6月12日 **【議案】**
・2022年度事業報告及び収入支出決算について
・理事の選任について
・監事の選任について
・2023年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集について

- 令和5年 6月27日 【議案】
・ 理事長の選定について
- 令和5年 7月26日 【報告事項】
・ 2023年度第1回評議員会（定時評議員会）について
・ 7月1日時点での入所者・園児等の状況について
・ アトリエ ヴェルデ：送迎ニーズへの対応について
- 令和5年 8月30日 【報告事項】
・ 令和4年度認可保育所に対する指導監査の結果について
- 令和5年 9月29日 【議案】
・ 金融機関からの借入について
【報告事項】
・ 理事長専決事項の執行状況について
- 令和5年10月25日 【報告事項】
・ 10月1日時点での入所者・園児等の状況について
・ 新型コロナウイルス感染症について
・ 2023年度第2回評議員会について
- 令和5年11月29日 【議案】
・ 金融機関からの借入（12月賞与支給等に係る一時借入金）について
- 令和6年 2月28日 【議案】
・ みどり園施設長の選任について
・ 清川ホーム施設長の選任について
・ 本厚木ふたば保育園施設長の選任について
・ つくし施設長の選任について
・ つくし相談室施設長の選任について
・ つくし相談室管理者の解任について
【報告事項】
・ 2月1日時点での入所者・園児等の状況について
・ 保育園の指導監査の結果について
・ 2024年度の理事会・評議員会開催日程案について
- 令和6年 3月19日 【議案】
・ 2024年度事業計画及び予算について
・ 顧問の委嘱について
・ 2023年度第2回評議員会について
【報告事項】
・ 理事長専決事項の執行状況について

3 代表者会議

理事長、総括担当理事、長塚顧問、総務部長、各施設長、医療担当者代表、調理栄養担当者代表を構成員として、毎月（年12回）開催を基本としているが、新型コロナウイルスクラスター発生による感染防止対策等で8回は書面報告となった。

法人全体に係わる問題・課題等についての協議のほか、各施設の主な事業の報告、書面による確認により、法人全体で共通認識、意思統一を図った。

4 広報戦略会議

理事長、総括担当理事、総務部担当職員2名を構成員とし、年11回開催した。基本資料の作成、求人サイトによる職員の採用対策などに関して協議を行った。なお、昨年度と同様に2023年度も「福祉の輪 広げたい」、「ゆう」の発行を見送った。

- ・基本資料作成について
- ・求人サイト（マイナビ・インディード）の点検
- ・道灌まつり顔出しパネル
- ・職員の採用活動の検討

5 表彰委員会

代表者会議の構成員で年1回開催。永年勤務者の表彰について協議を行った。

- ・永年勤務者表彰
 - 30年表彰 2名
 - 20年表彰 6名
 - 10年表彰 4名
- ・表彰日 令和6年3月24日（法人設立日）

6 医療担当者会議

看護師3名を構成員とし、月1回開催。利用者・園児及び職員の健康管理・疾病予防対策、入所施設の高齢化対策、事故防止対策、新型コロナウイルス感染症対策、看護師業務改善、職員健康診断の情報共有や協議を行い対応を図った。また、会議のみではなく、随時3名で情報、課題共有を行い、総務部、各施設の管理職との連携を行いながら対応した。結果として、利用者、園児の異常の早期発見・早期対応、利用者にあった適切な施設移行、新型コロナウイルス感染症対応、感染者発生時のクラスター対応、ワクチン接種対応等スムーズに行うことができた。

検討項目

- ・各施設の入院状況、感染症罹患状況の報告、及びその対策について
- ・新型コロナウイルス感染症対策、発生時対応について
- ・事故・怪我の報告、及びその対策について
- ・事故、ヒヤリハットのフィードバック、職員の意識強化について
- ・高齢化等に伴う利用者の対応、施設移行について
- ・事業報告書の作成

7 調理担当者会議

食事提供をしている施設の調理員5名を構成員として7回（うち2回は調理・栄養担当者会議）開催した。会議は、新型コロナウイルス感染予防対策としてZOOMによるリモート会議とした。職場での課題や問題点の協議や新型コロナウイルス感染防止等の意見交換を行い、より一層の安全・安心な食事提供及び衛生面に配慮した調理業務に向け改善を図った。結果として、より効果的な清掃方法の共有やメニューの拡充、新型コロナウイルス感染防止対策、災害時の対応強化をすることができた。

検討項目

- ・アレルギー対応食について
- ・入所施設食形態表リニューアルについて
- ・厨房、食堂の衛生管理・清掃業務について
- ・行事食について
- ・食育活動について
- ・感染症、食中毒防止について
- ・HACCPについて
- ・新型コロナウイルス感染防止対策について
- ・会議の在り方について

8 栄養士会議

栄養士3名、調理員1名を構成員とし、7回開催（うち2回は調理・栄養担当者会議）。職場での課題や問題点の協議や意見交換を行い、栄養管理業務の改善を図った。

検討項目

- ・アレルギー対応食や食形態低下に伴う個別対応について
- ・災害備蓄食料について
- ・栄養素の底上げ・栄養計算について
- ・栄養摂取量の改善について
- ・感染症、食中毒防止について
- ・新型コロナウイルス感染防止対策について
- ・各施設間の情報交換
- ・会議の在り方について

9 衛生管理点検

各施設長による衛生点検を月1回実施し、結果を理事長はじめ関係者に報告するとともに、指摘事項については各職場で改善の取り組みを行った。

実施施設

- ・みどり園 ・清川ホーム ・伊勢原ふたば保育園 ・本厚木ふたば保育園
- ・つくし

10 施設整備等

- ・伊勢原ふたば保育園 LED化改修工事
- ・本厚木ふたば保育園 保育室フローリング床のコーティング施工工事
- ・ネットワークサーバーの入替

2023年度の課題に対する自己評価

必要なサービスを継続できる支援や保育、安心安全なサービス提供に引き続き取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症対策の変化に対応した支援や保育、安心安全なサービス提供を検討する。

1 安定した法人運営の維持

各施設の予算と実績の状況を毎月各施設長と点検・確認し、支出の適正化と財務規律の意識を高め、安定した法人運営の維持に努める。

⇒ 5類に移行したとはいえ増殖を抑える抗コロナウイルス薬が開発されていないので、入所施設ではコロナ感染を防ぐことは難しく、2023年度もみどり園と清川ホームでクラスターが発生した。当然、利用収入は改善せず物価高騰は一層高まり収支は厳しさが続いている。そのような中、保育園での収入が改善傾向を示すなど収入支出を適宜見直してきた効果も現れてきた。

2 安心安全な保育サービスの提供

人材の確保、人材の育成に努めるとともに、安心安全なサービスを提供するためのカメラ導入の検討や感染症・災害発生時に必要なサービスを提供するための業務継続計画(BCP)の策定に取り組む。また、「支援のあり方検討委員会」において、より良い支援を提供するための様々な課題の解決に向けた検討を継続する。

⇒ 多様な求人媒体を利用し、支援員や保育士等の確保に努め、感染症対策の徹底などで、安心安全な支援や保育サービスを提供できている。

本年度中の策定を目指した業務継続計画(BCP)は、概ね策定ができたが正月に発生した能登半島地震から得られている新たな知見を同計画にも活かすための見直しの作業に入っている。

II みどり園

1 指定障害者支援施設 みどり園

(1) 入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	67	67	66	66	66	66	66	65	65	64	64	64
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
退所	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0
2022年度 在籍数	67	67	65	66	66	66	67	67	67	67	67	67

(2) 生活介護通所利用者数 (入所利用者以外の通所による生活介護の利用者)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2022年度 在籍数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

(3) 行事

4月 3日	開園記念式	11月 7日	みどり園バザー
6月 26日	居酒屋イベント	11月 27日	チョコフォンデュイベント
7月 7日	ふくまる移動販売	12月 25日	クリスマス会
7月 24日	七夕イベント	2月 26日	カニを食べようイベント
8月 19日	納涼祭代替イベント	2月 27日	ふくまる移動販売 (中止)
10月 23日	ハロウィンイベント	3月 18日	カップラーメンイベント

(4) 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
4月 3日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	2階シャワー室より出火想定で訓練を行った。
5月 1日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
6月 19日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	男性棟1階入浴室出火想定で訓練を行った。
7月 3日 9:50～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
8月 30日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	感染症流行のため中止。
9月 4日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	感染症流行のため中止。
10月 6日 9:30～	避難訓練 (がけ崩れ想定)	女性棟側の崖が崩れたことを想定し訓練を行った。
11月 9日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	娯楽室より出火想定で訓練を行った。
12月 22日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	体調不良者が多かったため中止。
2月 2日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
2月 27日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	感染症流行のため中止。

・業者による年2回の定期防災機器点検に加え、自主点検も年2回実施した。

(5) 広報

「園だより」を2回発行した。

- ・第183号（6月20日発行） 施設長あいさつ・新任職員挨拶・異動職員挨拶
・新規採用職員挨拶・異動職員挨拶・意思決定支援
・1月2月イベント・カップラーメンイベント
・給食だより・開園記念式・誕生会
- ・第184号（2月20日発行） 施設長あいさつ・居酒屋イベント・七夕イベント
・チョコフォンデュイベント・納涼祭代替イベント
・ハロウィンイベント・新任職員挨拶

(6) 権利擁護、本人活動支援

① 利用者自治会

年間5回開催。実施したいイベントについて話し合ったほか、要望や困ったことなどについて意見が出された。また、職員からの提案事項を相談させていただいた。

② 虐待防止委員会

不適切行為チェックリスト集計結果報告、事故報告、ヒヤリハットの振り返り、虐待の有無、事故検証会議の進め方等の確認をした。

(7) 職員研修

日 時	研修種別	研修内容
4月 24日 17:00～	虐待防止研修（新任職員研修兼） 講師：佐藤副施設長	・虐待防止基礎研修
5月 22日 17:00～	防災研修 講師：小澤主査	・みどり園防災基礎研修・防災マニュアルの確認 ・受信機の取扱い方法・感染症対策
6月 26日 17:00～	「個別支援計画の重要性」研修（動画） 講師：山内哲也氏（社会福祉法人武蔵野会）	・個別支援計画とPCDA ・well-beingへの支援
7月 24日 17:00～	「会議の基本と効果的な進め方」研修（動画） 講師：山内哲也氏（社会福祉法人武蔵野会）	・会議の方法
9月 22日 14:00～	新任研修 講師：新實施設長	・組織の職員としての心構え ・直接的技能・虐待防止
10月 23日 17:00～	GSV研修 講師：杉崎支援課長	・GSVの進め方 ・人材育成、チーム作り
11月 9日 14:00～	口腔ケア研修 講師：たんぼぼ歯科曾根医師	・口腔ケアの仕方 ・口腔ケアの技術指導
11月 27日 17:30～	感染症対策研修 講師：青塚看護師	・汚染物処理方法等
11月 29日 15:30～	喉詰まり対応研修 講師：和田支援リーダー	・喉詰まり対応マニュアル ・人形を用いてロールプレイ
12月 22日 9:30～	障がい者虐待防止研修 講師：長谷川大輔氏（社会福祉法人びぐれっと理事）	・講義（権利擁護・虐待防止法・不適切支援等） ・演習（個人ワーク・Gワーク・発表）
2月 26日 14:00～	防犯研修 講師：伊勢原警察西菌氏、坂上氏	・演習（不審者対応） ・不審者対応DVD視聴
3月1日～31日	虐待防止研修（動画全職員視聴） 講師：山内哲也氏（社会福祉法人武蔵野会）	・障害者虐待防止法・虐待発生の構造 ・継続的な支援の見直し・通報はすべての人を救う

2 その他の事業

(1) 短期入所事業

年間 実人数18人 延べ人数475人 (令和4年度 実人数8人 延べ人数274人)

(2) 地域生活支援事業

(日中一時支援事業)

年間 実人数6人 延べ人数379人 (令和4年度 実人数9人 延べ人数139人)

2023年度の課題に対する自己評価

1 職場研修の仕組みを確立し、スーパービジョン体制を整える。

⇒ 年間の研修計画を立て、緊急時以外は計画的に研修（OJT・OFF-JT）を実施した。スーパービジョン体制については、体制表を作成し、個別スーパービジョン、グループスーパービジョンを中心に行ない、スーパーバイザーに寄り添えるように努めた。前期個別スーパービジョン面接を行うことができなかったスーパーバイザーについては、後期個別スーパービジョン面接は実施できるように調整した。引き続き職員全員がスーパービジョンの理解を深めて、職場研修の仕組みを確立し、スーパービジョン体制を構築していく。

2 新型コロナウイルス感染症を含め、あらゆる感染症の対策を徹底するとともに、新しい生活様式を整えられるよう工夫努力する。

⇒ 8月に新型コロナウイルス感染症クラスターが発生してしまったが、前年のクラスター経験を活かすことができ、感染拡大を抑えることができた。今回のクラスター経験も踏まえ、引き続き感染症対策の徹底を図っていく。

また、感染症対策を徹底した中、毎月工夫をしながら園内イベントを実施し、家族との対面面会、買物外出も実施することができた。

今後も感染症対応の見直しを行いながら、新しい生活様式を整えられるように工夫努力を継続するとともに、感染症発症時にも生活介護通所事業、短期入所事業を継続できるように努力したい。

Ⅲ 清川ホーム

1 指定障害者支援施設 清川ホーム

(1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	49	49	49	49	49	50	49	50	50	50	50	49
入所	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
2022年度 在籍数	51	51	51	51	51	49	49	48	48	48	49	49

(2) 行事

5月	ふれあいフェスティバル (中止)
7月 15日	夏のお楽しみデイ (サマーフェスティバルが中止となり代替え行事)
12月 19日	クリスマス会
1月 16日	どんど焼き
1月 23日	成人・敬老の祝い (喜寿1名)
月例行事	みんなの会

グループレクリエーション

*新型コロナウイルスの感染症対策の為、例年行っている日帰りレクリエーションを中止し、地域の店舗等からお弁当を購入し、食事会を実施。

日 時	食事会
6月20日	A・Dグループが担当し、すき家よりお弁当を購入
11月21日	B・Cグループが担当し、濱陣よりお弁当を購入

(3) 防災 業者による年2回の定期防災機器点検、自主点検も2回実施。

日 時	訓練種別	訓練状況
4月 11日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震:日中想定)	安全の確認、職員間の連携を目的とした訓練を行った。浄水訓練も行った。
5月 9日 13:30～	避難訓練 (火災:日中想定)	厨房からの出火を想定した避難訓練を行った。消火器訓練も実施した。
6月 13日 9:30～	避難訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、防災備品の使用方法を確認。訓練後、反省会を実施し問題点を確認した。
7月 11日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	作業室からの出火を想定した避難訓練を行った。消火栓訓練も実施した。
8月 15日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震:日中想定)	安全第一迅速な避難誘導を目的とした訓練を実施した。
9月 12日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:日中想定)	2階女性支援員室からの出火を想定し、避難訓練を行った。消火栓訓練も実施した。
11月 14日 9:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	22時の想定で職員2名で行った。出火(漏電)は3階作業室。消火栓による消火訓練を実地した。
12月 12日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震:日中想定)	スムーズに避難場所まで誘導できた。除雪機の操作訓練を行った。
1月 9日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災:夜間想定)	19時想定職員5名、出火は3階作業室で消防署へ通報訓練を実施。除雪機の操作訓練を実施した。
2月 13日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震:日中想定)	スムーズに避難場所まで誘導できた。除雪機の操作訓練を行った。
3月 12日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災:日中想定)	日中2階支援室からの出火を想定した避難訓練を行った。除雪機の操作訓練を行った。

6月27日、10月24日 13:30～垂直訓練を行った。

(4) 広報

「清川ホームだより」を2回発行した。

第139号(9月16日発行)第三十四回開園記念日、食事会、誕生会、その他行事報告
第140号(3月23日発行)新年の祝い、秋のお茶会、クリスマス会、その他行事報告
常設記事 作業収益報告、お知らせ、編集後記

(5) 権利擁護、本人活動支援

① あおぞらプラン(かながわ知的障害者権利擁護プラン)の取り組み

神奈川県知的障害施設団体連合会が定めた「あおぞらプラン」に沿って、清川ホームでの実践課題を4つの柱に整理し取り組みを進め、半期に一度まとめを行った。(①生命の安全と健康を保障 ②人権を尊重 ③自己決定、本人の意思を尊重 ④プライバシーの尊重)

② 苦情解決(厚木地区オンブズマンネットワークの取り組み)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の為、1年間活動中止となる。例年通りであれば、食堂でオンブズマン相談会を行い、相談者1人ひとり、順番に相談を行う。相談内容については改善や検討の必要に応じ、支援会議等で協議して対応する。

③ 本人活動支援(厚木地区としての活動)

厚木地区の本人活動支援(Aネット協力員)運営会議がZOOMで行なわれ、年間3回出席した。利用者研修会は年3回行なわれた。第1回は他施設とのZOOMでの交流会に利用者1名参加。第2回はフォーデュオのコンサートにZOOMにて3名参加している。第3回は和太鼓の団体によるコンサートにZOOMにて2名参加している。いずれも皆さん楽しまれていた。

④ 本人活動支援(清川ホームとしての活動)

利用者の声を聞く会・答える会

年間11回実施。聞く会・答える会と交互に行った。毎回食事や外出に関する希望が多く寄せられた。食事関係は栄養士、それ以外の意見は担当職員に確認してみんなの会にて回答した。アンケート箱は、参加できなかった利用者や答える事ができない利用者の代弁を書いて活用した。(2月のみんなの会はコロナウィルスクラスターにより中止)

(6) 職員研修

毎月第2木曜日に職員研修を実施した。AED・心肺蘇生法、防犯研修、個別支援計画書の作成(アセスメントの仕方など)について、高齢化・認知症について、自傷行為への対処について、人権・身体拘束や不適切支援についての研修、歯科研修(たんぼぼ歯科より指導)を実施した。新型コロナウイルス感染症対策・予防の為、歯科研修以外は外部講師を招く研修は延期し、内部研修を中心に行なった。

2 その他の事業

(1) 短期入所事業

年間 実人数 2人 延べ人数 44人 (令和4年度 実人数4人 延べ人数24人)

(2) 地域生活支援事業【公益事業】

(日中一時支援事業など)

年間 実人数 0人 延べ人数 0人 (令和3年度 実人数0人 延べ人数0人)

2023年度の課題に対する自己評価

- 1 作業等の日課の提供を大切にし、健康的な暮らしを維持する。
⇒ 安定して作業等の日課や健康的な暮らしを維持してきたが、利用者さん達の高齢化もあり入院や老人ホームへの移行なども目立った。そのような中、2月にコロナが感染し、クラスターとなったが、前回の経験を活かしつつ乗り切ることができた。
- 2 オンラインの研修を引き続き取り入れ、階層別の研修にも積極的に参加する。
⇒ 2023年度もサポーターズカレッジによるオンライン研修を行ったほか、施設外研修はキャリア・パス研修に参加するなど計画通りの研修を実施できた。
- 3 毎月の避難訓練を確実に行う事で今まで以上の防災意識の向上を図る。
⇒ 毎月、避難訓練を行うことで、大規模災害時における初動対応の確認と防災意識の向上を図ることができた。
- 4 引き続きコロナの感染防止とチームワークを両立するよう努力する。
⇒ 感染防止の徹底を図ってきたが、2月に感染が広がりクラスターとなった。去年は館内をレッドゾーンとグリーンゾーンに分けたが、今回はインフルエンザ等と同様の隔離対応で対処した。
- 5 コロナ禍のなかで少なくなった地域行事等にできる限り貢献する。
⇒ 清川村のクリーンキャンペーンや防災訓練に参加したほか、厚木地区のオンライン音楽鑑賞会の開催協力など地域行事に参加することができた。
- 6 業務の見直し:危機管理の確認と徹底
⇒ 新型コロナウイルス感染症などの感染防止を徹底し、利用者と職員の健康管理の徹底に努めた。

IV 伊勢原ふたば保育園

1 認可保育所 伊勢原ふたば保育園

(1) 令和5年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	11	7	7	9	9	9	9	9	10	10	11	11	11
1才	13	16	16	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
2才	18	21	21	21	21	23	23	23	23	23	23	23	23
3才	20	21	22	22	22	22	22	22	22	23	22	22	22
4才	28	23	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
5才	30	23	24	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
合計	120	111	115	118	118	120	120	120	121	122	122	122	122
	2022 年度	100	103	104	103	108	108	108	109	111	111	112	112

(2) 行事

4月	3日	新入園児歓迎会
5月	12日	4歳児春の遠足（平塚市総合運動公園）
6月	2日	5歳児春の遠足（小田原わんぱくランド）
	7日	田植え（5歳児）
	9日	3歳児春の遠足（伊勢原市総合運動公園）
7月	3日	プール開き
	7日	おたのしみ会（5歳児）
	11日	七夕
	15日	夏まつり
10月	12日	稲刈り体験（5歳児）
	21日	運動会
	27日	3歳児秋の遠足（里山公園）
	30日	芋ほり（4・5歳児）
11月	2日	4歳児秋の遠足（新江ノ島水族館）
	10日	5歳児秋の遠足（横浜動物園ズーラシア）
	28～31日	保育参観・懇談会
12月	21日	防災センター見学（5歳児）
	25日	クリスマス会
1月	19日	新春マラソン大会
2月	2日	豆まき
	17日	リズム発表会（人数制限あり）
3月	12日	お別れ会
	16日	卒園式
	19日	5歳児卒園遠足（八景島シーパラダイス）
	29日	保育終了の会

※このほか毎月、身体測定。

※新型コロナウイルス感染症の影響で中止・制限をしていた行事は、通常通り再開したが、室内での行事に関しては人数制限をした。

(3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月17日 10:30	避難訓練 (火災想定)	年度初めの訓練に伴い、各クラスで避難に関する職員間での確認や子ども達は紙芝居等を通して学んだ。
5月9日 9:45	避難訓練 (地震・火災想定)	地震から火災が発生し、駐車場に避難する訓練。各クラス、スムーズに避難をすることができた。(予告なし)
6月3日 10:00	避難訓練 (地震想定)	土曜日の異年齢保育中の地震を想定して訓練を行った。(予告なし)
6月13日 9:30	不審者対応訓練 (園庭に侵入想定)	不審者が侵入したことを放送で聞き、各クラスは保育室の施錠を行い不審者には男性職員が対応した。(予告なし)
7月28日 9:45	避難訓練 (火災想定)	火災現場発見者は直ちに事務所や近くの職員に報告し初期消火を行った。(予告なし)
8月3日 14:30	避難訓練 (地震・火災想定)	地震から火災が発生し、駐車場に避難する訓練。各クラス、スムーズに避難をすることができた。(予告なし)
9月1日 15:30～	避難訓練 (地震、火災想定総合訓練)	地震が発生し、各クラス避難体制をとる訓練。そのまま引き渡し訓練を行う。
16:00～	引渡し訓練	一斉メールで保護者に至急迎えに来ていただく訓練。各家庭、職場から来るため時間差があったが18時までには全員迎えに来た。
10月27日 15:30	避難訓練 (台風・竜巻想定)	歌川が氾濫し1Fの冠水を想定し、1階のクラスの園児は速やかに2Fホールに移動。幼児クラスの保育士も手伝いながら連携をとり対応することができた。(予告なし)
11月27日 9:40	避難訓練 (近隣の住宅からの火災想定)	近隣住宅からの火災を想定し、直ちに全クラスに周知し避難体制をとる。速やかに避難することができた。(予告なし)
12月20日 17:10	避難訓練 (落雷・停電の想定)	近隣に落雷した影響で、保育園の停電を想定した訓練。各クラスランタンを使用し子どもの安全確保を行った。
1月23日 9:40	不審者対応訓練 (園庭に不審者が侵入する)	保護者に紛れて園庭に侵入した不審者対応訓練。複数の職員で対応するとともに、不審者を刺激しないように合言葉で全体に伝え、各クラス避難体制をとることができた。(予告なし)
1月24日	避難訓練	ミサイル発射にともない、Jアラートが鳴ったのを確認し、園内放送にて各クラスに伝え避難体制をとった。(予告なし)
2月13日 7:30	避難訓練 (地震想定)	早朝の地震発生を想定して訓練を行った。園内にいた保護者も一緒に参加した。(予告なし)
3月27日 10:00	避難訓練 (地震想定)	全園児対象で、広域避難場所(成瀬小学校)まで速やかに避難することができた。(予告なし)

(4) 広報

- 園だより、クラスだより 毎月発行
- 保健だより 年4回発行

2 その他の取り組み

(1) 地域育児センター事業

ア 育児相談 延べ件数 14件 (2022年度 10件)
施設開放時・電話相談・面談等

イ 子育て家庭交流事業

① 園庭開放

新型コロナウイルス感染症の影響も減り、利用人数も少しずつ増えてきたが、5月～10月頃は気温が高く熱中症の危険性があるため、利用者は減少している。

② 成瀬地区の子育て支援の取り組み

地域教育等連絡協議会で地域の他施設の職員との情報を共有し、新たな取り組みを模索することができた。
また、石田小学校と連携して行っている「ようこそ年長さん」を数年ぶりに実施することができ、年長児と1年生との交流をもてることができた。
3月には、石田小学校に年長児が授業の様子を見に行ったり校庭で一緒に遊んだりして交流を深めることができた。

ウ 中高生と園児の体験交流事業・夏期保育体験

今年度は、4年ぶりに伊勢原市内の中学生が職場体験で来園し、保育士の仕事を体験したり子ども達との交流を楽しんだりすることができた。

エ 世代間等交流事業

例年行っていた、「湘南けやきの郷」「ケアセンター高森荘」との交流は、今年度は見送ることにした。

(2) 一時預かり事業

利用状況（延べ利用人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
2023年度	0	1	3	2	1	2	1	2	2	0	0	0	14人
2022年度	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	4人

※新型コロナウイルス感染症の影響も減り、受け入れ体制を整えることができた。

(3) 職員研修

(園内研修)

月 日	内容	受講人数
5月 8日	防災設備訓練 講師：相日防災社員	10人
6月 16日	AED講習（場所：伊勢原ふたば保育園） 講師：伊勢原市消防署職員	28人
7月 27日	保育内容について(勤務経験1～5年) 講師：主任保育士	5人
12月 8日	保育内容について(勤務経験1～5年) 講師：主任保育士	5人
12月 2日	発達の気になる子への対応（研修報） 講師：リーダー保育士	10人
3月 6日	自己評価まとめ 講師：園長	10人

(外部研修)

月 日	内 容	対 象
7月 5日	小児応急手当	保育士
7月 20日	安全対策	保育士
7月 28日	感染症対策	保育士
8月 10日	口腔衛生	保育士
8月 30日	食品衛生講習会	調理員
11月 30日	普通救命救急	保育士
12月 6日	保護者支援・子育て支援	保育士
12月 26日	マネジメント講座（人材育成）	保育士
1月 9日	食育アレルギー	調理員
2月 3日	食育アレルギー	調理員
2月 17日	食育アレルギー	調理員
2月 28日	聴覚障がい児支援研修	看護師
2月 29日	アレルギー研修	看護師

2023年度の課題に対する自己評価

- 1 引き続き新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら、安心・安全な保育運営に努める。また、感染状況を見極めながら子どもたちに様々な経験ができるように対応していく。
⇒ 園児には、手洗い・うがい、手指消毒の習慣が身につくように指導すると共に玩具の消毒も小まめに行った。また、保護者や家族間での感染が増加した際には注意を喚起し、受け入れの際に注意深く対応することで、感染拡大を防ぐことができた。行事に関しては、例年通りに開催することができたが、人数が多くなる行事に関しては、人数制限を設けることで感染対策を徹底した。
- 2 個々の心と体の発達を十分に見極めながら、子どもたちの興味や関心を展開しながら自主性を大切にしていく。
⇒ 子どもたちの言動や行動を見極め、保育の中心に常に子どもがいるように心がけた保育内容を展開することができた。また、子どもたちが興味のあるものには十分に時間を費やして、納得できるまで取り組むことができた。
- 3 安定的な園児の確保に努めると共に職員の業務負担の改善に取り組む。また、チームビルディングを通して専門性の向上と園目標に向かって園全体で一丸となり取り組んでいく。
⇒ 2歳～5歳児については、定員以上の園児を受け入れることができた。
また、職員については、正職の保育士が少ないため事務作業が多くなってしまったが、保育支援・保育補助の職員を雇用することで保育士への負担軽減につなげることができた。研修については、参加できる人数に限りがあるため全体的に専門性の向上を求めることができなかつたが、学習会や研修などを通して専門性の向上に取り組んだ。

V 本厚木ふたば保育園

1 認可保育所 本厚木ふたば保育園

(1) 2023年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	12	5	6	6	6	6	6	8	9	10	10	10	10
1才	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2才	13	12	11	12	12	12	11	12	12	12	12	12	12
3才	13	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	13
4才	14	10	9	9	9	9	9	9	9	10	10	9	9
5才	14	13	13	12	12	12	13	13	13	13	13	13	13
合計	79	64	63	63	63	63	64	67	68	70	70	69	69
2022 年度	79	66	66	64	66	68	69	70	70	70	69	71	70

(2) 行事

4月1日	入園・進級式
7日	クラス懇談会（中止）
14日	みどり園遊び（4・5歳児）
21日	春の遠足4.5歳児（伊勢原総合運動公園）
28日	春の遠足3歳児（ぼうさいの丘公園）
5月19日	さつま芋苗植え（4.5歳児・みどり園）
6月16日	みどり園遊び（4・5歳児）
21日	厚木市演劇鑑賞会
7月3日	水遊び開き
6日	プラネタリウム（4・5歳児）
7日	七夕の集い
14日	プチ夏祭り
15日	夏祭り
8月8日	アコーディオン演奏会
9月22日	みどり園遊び
29日	お楽しみ会
10月2日	プラネタリウム（幼児組）
21日	運動会
26日	さつま芋掘り（4.5歳児・みどり園）
27日	秋の遠足（3歳児・伊勢原総合運動公園）
11月2日	秋の遠足（4.5歳児・相模三川公園）
8日	消防署見学
16日	みどり園遊び（4・5歳児）
17日	みどり園遊び（3歳児、雨天中止）
12月15日	クリスマス発表会（乳児）
16日	クリスマス発表会（幼児）
19日	交通安全教室
22日	クリスマス会
1月5日	新春・伝承遊び
10日	大山こま大会
19日	みどり園遊び（4・5歳児）
2月2日	豆まき
16日	お店屋さんごっこ
22日	みどり園遊び（4・5歳児）
29日	歯科健康教室
3月1日	ひなまつり会
6日	5歳児を送る会
8日	思い出遠足（5歳児・ズーラシア）
15日	卒園式
22日	みどり園遊び（3・4歳児）
29日	修了式

*各月に、誕生会、身体測定
避難訓練などを実施

*年2回 内科健診、歯科健診

(3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月 11日 9:30	避難訓練 (地震想定)	ちゅーりっぷ組は保育士がおんぶにて保育室中央に誘導した。さくら組は保育士の声掛けにて集まり、防災頭巾を被ることが出来た。れんげ、たんぼぼ組もしっかりと保育室中央に集まることが出来ていた。すみれ、ひまわり組は地震発生の合図の際、散歩に行く途中であり、エレベーターホール前であったが、しっかりと避難行動を取ることが出来ていた。
5月 9日 14:55	避難訓練 (地震想定)	保育士が安全に誘導し布団や頭巾で頭を守り部屋の中央に避難することが出来た。
6月 6日 9:30	通報避難訓練 (火災想定)	※通報訓練。煙を吸わないように鼻と口を押えながら落ち着いて避難することが出来た。また、避難経路をきちんと確保し、子ども達をスムーズに誘導する事が出来た。(予告なし)
6月 13日 9:30	避難訓練 (不審者想定)	全クラス保育士の話を聞いて落ち着いて避難することが出来ていた。マイクでの放送であった為、何人か面白がってしまう園児がいた。(予告なし)
7月 4日 9:30	避難訓練 (火災想定)	保育士の話を聞いてスムーズに避難が出来た。煙を吸わないように手で口を塞ぎ避難場所まで移動する園児もいた。(予告なし)
8月 8日 9:30	避難訓練 (洪水・垂直訓練)	ちゅーりっぷ側非常口の手すりが無かったが、子どもも少なく保育者がいた為スムーズに昇ることが出来た。保育者が声を掛け連携し、分かりやすく伝わるよう指示をした。
9月8日 16:00	総合訓練 (地震)	一回目の声掛けにて保育士のそばに集まり頭を隠して避難できていた。2回目の声掛けで避難場所までスムーズに避難できていた。
16:30～	引渡し訓練	保護者の迎えも混乱なく出来ていた。場所の変更等のメールの仕方に検討必要。かなり暑かったので、来年度は時期変更の検討必要。
10月 3日 17:00	避難訓練 (地震想定)	乳児は玩具を出して遊んでいた。幼児は製作をしていた中で、どのクラスも保育士の指示に従って避難することが出来ていた。
11月 7日 10:30	避難訓練 (地震想定)	ちゅーりっぷ組、さくら組、れんげ組は保育室で活動していた為、各保育室で避難体制を取った。たんぼぼ組はさつき公園、すみれ、ひまわり組は、ひまわり公園で活動中での地震想定であり公園内で避難体制を取った後、それぞれの組から園に安全と人数等の電話報告があった。
12月 5日 8:30	避難訓練 (火災想定)	手で口と鼻を覆い保育士の指示に従い静かに避難することが出来ていた。防災頭巾の正しい被り方等再確認していきたい。
1月 9日 8:00	避難訓練 (地震想定)	保育士間で声を掛け合い、きちんと頭を守りながら安全に避難することが出来た。(予告なし)
2月 6日 9:30	通報避難訓練 (火災想定)	※通報訓練。どのクラスもスムーズに避難することが出来ていた。雨天だったため、避難場所に変更があったが、職員間で声を掛け合い、子どもの安全を確保することが出来た。(予告なし)
2月 13日 15:45	避難訓練 (不審者対応)	どのクラスも落ち着いて避難することが出来た。乳児クラスも泣く児もなく、保育士の話を聞きスムーズに避難していた。(予告なし)
3月 5日 16:00	避難訓練 (火災想定)	乳児はしっかりと保育士の声掛けで口を手で覆い避難することが出来ていた。一部で玩具も一緒に持ってきてしまったり、防災頭巾に苦戦している児もいた。

(4) 広報

- 園だより、毎月発行
- 給食だより、毎月発行
- 保健だより 年4回発行
- インスタグラムで、タイムリーに保育などの情報を外部に発信した。

(5) 職員研修

- 5月 11・12日 甲種防火管理新規講習
- 6月 12・13日 AED使用方法及び心肺蘇生法
- 6月 28日 聴覚障がい児早期発見・早期支援のための研修会
- 7月 5日 初任者研修会（交通安全教育）
- 7月 31・8月1日 甲種防火管理新規講習
- 8月 20日 SONG BOOK CAFÉ 保育セミナー2023
- 8月 22日 管理者研修会（不祥事防止研修）
- 8月 23日 5歳児担任職員交流会
- 9月 28日 みんなが幸せになる保育～今求められる保育と保育者の専門性～
- 8月 21日 令和5年度神奈川県エキスパート等研修
「幼児教育」「障害児保育」「保護者支援・子育て支援」
- 11月 7日 「食育・アレルギー対応」
- 10月 1日 ～ 11月28日 保育士等キャリアアップ研修「保護者支援・子育て支援」
- 2月 29日 食物アレルギーと薬物アレルギーの最新知識と対応

2 その他の取り組み

① 和太鼓への取り組み

年長児が、運動会での発表に向けて、和太鼓に取り組んだ。
全学年で取り組めるよう、楽しみながら音の感覚を養えるようにした。
年間を通して取り組めるように、各クラスの目標を掲げて保育士が取り組みやすいようにした。

② 栄養士が独自のメニューを取り入れ、子ども達の日々の様子を見ながらメニューの改善などをした。また、食育をできる範囲で行い、子ども達に食物の大切さを教えた。味噌作りや野菜作りを通して、自分たちで作ったものを食べ、食物に一層興味を持つことができた。対策をしてできる範囲でのクッキング保育に取り組んだ。

③ 「さくら・さくらんぼのリズム」を実践

職員全体で共有できるようにし、子ども達が楽しみながら取り組めるようにした。
毎日の保育に取り入れ、子ども達の体幹を鍛え、心身ともに成長していくことができるよう心掛けた。保育士自身の体幹も鍛えられるよう実践した。

2023年度の課題に対する自己評価

- 1 新型コロナウイルス感染症に対して、しっかりとした対応を行っていく。
また、コロナ禍における制限がある中で、子ども達にとって楽しい保育を提供できるように取り組む。

⇒ 手洗いやうがい、手指消毒などを徹底し、検温や視診を丁寧に行った。
新型コロナウイルスが5月8日から「5類感染症」に位置づけられたことから、マスク着用などは個人の意向とした。厚木第二小学校体育館で行った運動会は保護者2名までとしたが、全園児が参加して開催することができた。また、クリスマス発表会は、乳児組と幼児組で2日間に分けて全園児が参加、保護者2名までとして開催した。

- 2 本厚木ふたば保育園の目指す保育を職員全体で共有し、真心保育で、安心・安全な保育園、地域の特徴を活かした地域に溶け込んだ保育園を目指す。

⇒ 子どもを中心にした、子ども主体の保育をすることを共有するため、報告・連絡・相談を徹底し、情報の共有化を図った。職員同士で話し合う大切さを伝え、皆で共有できるように心掛けた。新型コロナウイルスが5類へ移行されたが、小学校や高齢者施設、地域との連携は難しかった。

- 3 「さくら・さくらんぼのリズム」を実践し、子どもたちにより良いリズムを提供できるようにする。また、保育士自身の体幹を鍛え、ピアノや和太鼓にもしっかり取り組む。

⇒ 子ども達の体幹を鍛え、ロールマットを使って体のバランスを保てるようにするなど、毎日全クラスで保育士も一緒に「さくら・さくらんぼのリズム」に取り組み、良いリズムを提供できたが、一方で、個人差が出てくるため、柔軟に提供していくことが必要だと感じた。また、ピアノや和太鼓にしっかり取り組み、職員もピアノの演奏機会も増え、年長組は運動会で和太鼓を披露できた。引き続き、全学年で取り組んでいく。

VI げんき家

- 所在地 伊勢原市桜台2-16-25 エクセル伊勢原201号
- 事業内容 グループホーム
- 定員 4名

運営方針

- 1 利用者の意思及び人間性を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努める。
- 2 地域との結びつきを重視し、支援の実施機関や就労及び通所先の事業所との連携を図る。

支援内容

- ・ 朝食、夕食の提供
- ・ 日常生活のサポート
- ・ 金銭管理のサポート

1日の生活

時間	主な内容
7:00	起床 朝食 【世話人が調理】 *健康チェック 職場に出勤や就労継続支援B型事業所通所 【職場・就労継続支援B型事業所】
17:30	帰宅 【世話人と夕食作り】
18:30	夕食 【世話人と夕食後片付け】
19:30	入浴 自由時間 就寝
	● 休日は、自由に好きなように過ごします。 (帰宅や買物、趣味嗜好の外出など)

2023年度の課題及び現時点での自己評価

- 1 手洗い・うがい等の新型コロナウイルス感染対策を励行し、入居者の健康管理に留意をしながら、就労されている入居者の支援を行う。
⇒ 入居者全員に手洗いうがい等を励行することにより、入居者全員が感染対策を意識して過ごし、新型コロナウイルス感染症等に感染することなく就労先や事業所に通勤できている。
- 2 新規入居利用者の受け入れ準備を整えながら、関係機関との連携を図る。
⇒ 空き状況を相談支援事業所や市町村に情報提供し、数名の方が見学するも入居に至っていない。引き続き、げんき家の魅力を情報発信し入居者を募る。
- 3 職員の法人内外の研修参加を継続する。
⇒ 2023年度もみどり園主催の人権擁護研修に参加した。

Ⅶ つくし

就労継続支援B型事業所

定員 30名 所在地 伊勢原市伊勢原 3-6-7 (伊勢原スタジオ)

1 利用実績 (開所日数・利用者数・平均作業工賃等)

2023年度実績

登録者平均利用率 47.76%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	25	28	26	26	25	26	26	26	24	24	25	25	25.5
登録者数	48	48	48	48	48	51	52	52	52	53	50	50	50.0
延利用者数	574	624	610	576	513	610	667	673	654	627	573	579	606.7
	平均作業工賃												24,538

※2023年度より平均工賃の算出方法が変更となりました。

2022年度実績

登録者平均利用率 45.78%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	26	26	26	26	25	26	26	26	24	24	24	26	25.4
登録者数	52	53	53	52	52	53	51	50	50	50	47	47	50.8
延利用者数	608	627	655	598	560	617	580	597	579	548	522	611	591.8
平均作業工賃	12,151	12,772	14,166	13,796	16,125	13,372	12,892	13,402	17,047	12,281	13,276	15,586	13,724

2 作業内容

施設内作業

自動車部品の下加工・選別・シール貼り/化粧箱組立、セット作業、
検品、段ボール組立、水道メーター解体

施設外就労

出向先の施設清掃/倉庫内での蓄冷材洗浄、カタログ仕分け等

自主事業

手芸品等の販売・リサイクル品販売など

3 その他の活動

就労支援活動

SST (社会生活技能訓練)、一般企業に就労実績 2名 (4年度 4名)

実習生受入

東海大学健康学部健康マネジメント学科

田園調布学園大学・人間福祉学部社会福祉学科・心理学科

4 行事

4月 5日	花見 (湘南平)
24日	東海大学医学部看護学科体験発表 (東海大学伊勢原キャンパス)
5月 21日	西湘地域統一メーカーバザー (平塚市総合運動公園)
6月 27日	家族の集い (中止)
7月 7日	平塚七夕見物
8月 1日	蕎麦打ち体験 (中止)
19日	みどり園納涼祭 (中止)
29日	暑気払い (分散しての夕食)
9月 27日	バーベキュー大会 (県精連秦野伊勢原足柄地区 表丹沢野外活動センター)
30日	道灌祭 (つくし敷地内)
10月 1日	道灌祭 (つくし敷地内)
14日	精神保健福祉ボランティア基礎講座 (当事者体験発表等 シティプラザ)
11月 16日	日帰り旅行 (横浜八景島シーパラダイス)
12月 6日	「障害者週間」街頭啓発キャンペーン
11日	宮ヶ瀬ダムツリー見学
13日	ハートメッセージ (茅ヶ崎市民文化会館)
1月 4日	初詣 (伊勢原大神宮)
16日	湘南西地区苦情解決委員会第三者委員訪問
2月 13日	梅見会 (別所梅林)
20日	県精連秦野伊勢原足柄地区ボウリング大会 (伊勢原ボウル)

※ その他、絵手紙教室、運動プログラム (中止)

5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
3月28日	避難訓練(地震想定) (予告なし)	混乱なくスムーズに避難できた。
3月28日	避難訓練(火災想定) (予告なし)	混乱なくスムーズに避難できた。

2023年度の課題に対する自己評価

- 1 コロナ禍における新しい生活様式を利用者とともに検討し確立していく。また新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、安心安全な作業環境を整える。
⇒ 新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用・手指消毒の徹底に努め、作業環境では密集にならないよう安心安全な作業を行った。新しい生活様式としては、室内外でも楽しめる行事の検討を行い、今年度は食事会のほか4年ぶりに日帰り旅行も実施した。
- 2 年間を通して安定した受注作業がいただけるよう企業との連携を強化しながら、工賃の時給額アップに繋がるよう取り組んでいく。
⇒ 新規受注先の取引も進んでいるが、受注作業の増加には繋がらなかった。引き続き、企業との連携を図り安定した作業収入の確保に努めながら、工賃の時給額アップを目指していく。
- 3 スーパービジョン体制(支持的機能・教育的機能・管理的機能)をさらに整える。
⇒ 新型コロナウイルスの影響も見られたが、スーパービジョン体制に変化を加えながら実施することができた。次年度も引き続きスーパービジョン体制を充実していきたい。
- 4 つくしの魅力(一般企業就労実績・専門性の高い支援・丁寧な仕事等)を、ホームページで発信する等、利用者の獲得と企業からの作業を発注していただけるようにPR活動を行う。
⇒ ホームページのリニューアルが完了し、見学者等の来訪も多かった。今年度は産業能率大学の学生と共同して事業所紹介動画を作成し、ホームページにアップする等のPR活動を行った。

Ⅷ アトリエ ヴェルデ

就労継続支援B型事業所

定員 25名

所在地 伊勢原市高森1422-7

1 利用実績（開所日数・利用者数・平均作業工賃等）

2023年度実績													登録者平均利用率 84.41%	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均	
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	22.5	
登録者数	29	29	29	29	29	30	30	30	29	29	29	29	29.3	
延利用者数	558	548	581	569	514	552	597	564	555	550	524	554	555.5	
													平均作業工賃	20,054

※2023年度より平均工賃の算出方法が変更となりました。

2022年度実績													登録者平均利用率 86.51%	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均	
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	22.4	
登録者数	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29.0	
延利用者数	566	574	593	555	541	584	576	563	565	537	506	589	562.4	
平均作業工賃	15,810	16,140	16,373	14,435	14,524	21,392	15,780	15,599	15,075	14,087	13,873	20,050	16,095	

2 作業内容

施設内作業 クリーニング作業、ボールペン組み立て、化粧箱組立、ダンボール組立

3 その他の活動

実習生受入 伊勢原支援学校実習生受入
平塚支援学校実習生受入

4 行事

4月22日(土)	保護者会(ヴェルデ食堂)昨年保護者希望で年1回の開催
4月27日(木)	お花見(神奈川県立花と緑のふれあいセンター)
5月25日(木)	日帰りレク(新横浜ラーメン博物館)
7月6日(木)	暑気払い(ららぽーと湘南平塚)
9月7日(木)	防災訓練(地震想定)
10月26日(木)	日帰りレク(よみうりランド)
12月14日(木)	忘年会(平塚甲羅)
1月13日(土)	初詣(三之宮比々多神社)
2月5日(土)	伊勢原市総合運動公園内体育館
3月12日(火)	防災訓練(地震想定、防災センター見学)

5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
9月7日	防災訓練 (地震想定)	直下型地震想定、シェイクアウト、安全確保を行い駐車場まで避難。スムーズに非難する事ができた。
3月12日	防災訓練 (地震想定)	混乱なくスムーズに避難できた。終了後防災センター見学を行った。

2023年度の課題に対する自己評価

- 1 利用者の増員、経営の安定を図る。
⇒ 2023年度の支援学校卒業生2名が2024年度4月利用開始。利用者2名増となったが、増員が思うように進まなかった。引き続き、利用者の増員に努めたい。

- 2 支援体制を整え工賃の向上を図り、利用者の就労支援と就労後の定着に関する支援を強化する。
⇒ 工賃の大幅な向上は難しかったが安定した作業収入は得ることができた。今後も施設外や施設内の作業による単価のアップを目指したい。
就労支援に関しては、コロナ禍より障害者就職合同面接会が開催されなていなかったこともあり、就労支援が滞っていた。2024年度は、県央地区、西湘地区の障害者就職合同面接会に参加希望のある利用者と参加していきたい。

- 3 職員が理念、方向性を共有し、施設内研修、施設外研修に参加し支援技術、モラルの向上を図る。
⇒ 職員体制が整わず、多くの研修に参加できなかったが、ケース会議、職員会議を通して理念、方向性を共有して利用者支援を行った。引き続き、適時、研修や個別支援の内容を共有し支援技術やモラルの向上に引き続き努めて行く。

- 4 新型コロナウイルス対策を行い、利用者が安全に作業できる環境の整備に努めていく。
⇒ 5類への移行後も体調不良時は利用者、職員とも無理せず休養する対応とし、引き続き、施設内の朝夕の消毒、マスク着用を徹底し、昼食時も対面での席次を行わないような対策を取った。

- 5 「つくし」との連携協力強化を図る。
⇒ 取引先の情報共有等、作業に関する情報交換が行えたが、職員の交換研修等はできなかった。

Ⅸ つくし相談室

相談支援事業

1 開所日数

264 日（2022年：269日） 1日平均相談件数 23.7件（2022年：26.5件）

2 相談実績

（1）相談実人数（障害者手帳の区分）

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	総数
2023年度	10	0	72	115	2	1	0	200
2022年度	11	0	90	114	2	1	0	218

（2）相談登録者数

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	総数
2023年度	18	0	161	147	3	1	0	330
2022年度	17	0	136	157	3	4	0	317

（3）支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	総数
2023年度	712	605	182	3,041	674	30	1,023	6,267
2022年度	843	705	252	3,416	1,150	26	743	7,135

主な支援内容

- ・福祉サービスの利用に関する支援（サービス等利用計画） 4,179 件
- ・健康医療に関する支援 2,515 件
- ・家族関係・人間関係に関する支援 1,643 件
- ・就労に関する支援 633 件
- ・その他 3,356 件

3 相談実績の分析とその対応

2023年度は、前年度に大きく増加した電話相談は年間400件近く減少した。一方で関係機関との連携に関する支援は、本人主体の丁寧な意思決定支援やコロナ禍での情報共有や連携の必要性の高まりから、前年度より300件近く増加した。

また、2022年度から相談件数の正確性を高めるためにメールでの相談を月ごとにカウントすることを実施した。令和5年5月、新型コロナウイルス感染症の位置づけが第5類に移行したこともあり、徐々に対面面談等が再開できるようになったことで電子メールは前年度より480件近く減少となった。

2023年は年度下半期に相談員の退職があったため、担当相談員の変更等を行いながら、利用者に不安や心配が払がらないよう、できる限り丁寧な対応や配慮を行った。

「かながわライフサポート」事業については1件実施し、コロナ禍や物価高で生活に困難をきたしている利用者に対して経済的支援や食糧支援を行った。

2023年度の課題に対する自己評価

- 1 サービス等利用計画作成に伴う計画相談及び一般相談の持続可能な相談継続を目指す。
⇒ 通所施設、グループホーム、ヘルパー支援などの福祉サービスの利用について、利用者の意向に沿いながら、見学、体験、利用までの調整支援など、利用者及び家族に対し丁寧な支援を行うことができ、精神的、身体的に治療を必要とされた利用者の通院の同行、医療機関との連絡調整の支援も行った。また、業務負担の改善については、面談記録の作成に文字起こしソフトを活用や、職員業務分担の整理をするなど改善に努めた。しかし、使用した文字起こしソフトの精度が低かったので、次年度は精度の高い文字起こしソフトの使用等を検討している。
- 2 伊勢原市障がい福祉計画に位置付けられている「委託相談支援事業所」の役割等を確認し、職員の資質・体制、他事業所との連携等を検討する。
⇒ 「委託相談支援事業所」に向けて準備を検討していたが、職員の退職や体調不良により体制作りができなかった。
- 3 新型コロナウイルスの感染状況に対応した支援を行う。
⇒ 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが第5類になった以降も職員の毎日の検温、定期的な抗原検査、早期のワクチン接種を行うなど健康管理を徹底した。相談室での面談に際しては、来訪者の検温、うがいや手指消毒、面談終了時の部屋の換気、テーブル、アクリル板の消毒を行うなど、感染防止に努めた。また、ワクチン接種を予約することが困難な利用者への接種予約を代行する支援を行った。
- 4 生計困難者に対する相談支援事業「かながわライフサポート」事業の円滑な運営に努める。
⇒ 今年度は1名が利用した。支援を依頼された時にはすでに生活が困窮した状態であったため、県社協と連携し、食料の支援、医療費や電気代など生活に必要な金銭的支援を行った。次年度も引き続き、かながわライフサポート事業の円滑な運営に努めたい。
- 5 キャリアにあった研修を受講し、相談員の知識及び経験の維持向上を図る。
⇒ 相談支援専門員が東海大学健康学部健康マネジメント学科にて「PSW実習」の講師となり、「個別性の大切さ」「自己覚知」「聞き上手になること」「自分なりの引き出しを作る」など、相談支援専門員について理解を深め、興味・関心を高める講義を行った。
- 6 利用者への支援の幅を拡げ、さらに相談員の支援向上を目指し、グループスーパービジョン（GSV）の手法に取り組む。
⇒ 職員の退職等もあり、事業所内ではGSVを実施できなかったが、定期的に関催される伊勢原市障がい者の暮らしを考える協議会相談支援部会のGSV研修会に順番で参加した。GSV手法にて、利用者のストレスを中心支援の方向性を検討していく方法を学んできた。次年度は事業所内でGSV手法に取り組んでいきたい。

X 施設間連携室

1 設置場所

伊勢原市粟窪605-1 (みどり園内)

2 事業内容

マイクロバスによる利用者の送迎・各施設への貸出調整等

3 実績報告

月日	件名	貸出物品	貸出先
4月14日	みどり園芝生広場遊び	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
4月20日	プラネタリアウム見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
4月21日	伊勢原運動公園	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
4月28日	ぼうさいの丘公園	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
5月12日	平塚総合運動公園	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
5月19日	芋の苗植え	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
5月25日	花菜ガーデン	三菱マイクロバス	アトリエヴェルデ
6月5日	健康診断	三菱マイクロバス	アトリエヴェルデ
6月5日	健康診断	日産マイクロバス	つくし
6月6日	田植え(加藤花園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
6月16日	みどり園芝生広場遊び	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
6月30日	小田原わんぱくランド	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
8月29日	レストラン(ふじまる)	三菱マイクロバス	つくし
9月27日	表丹沢野外活動センター	三菱マイクロバス	つくし
9月29日	小田原わんぱくランド	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
10月13日	稲刈り	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
10月26日	芋掘り	日産マイクロバス	本厚木ふたば保育園
10月26日	よみうりランド	三菱マイクロバス	アトリエヴェルデ
10月27日	茅ヶ崎里山公園	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
10月30日	芋掘り	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
		日産マイクロバス	
11月2日	新江ノ島水族館	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
11月10日	よこはま動物園ズーラシア	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
11月16日	みどり園芝生広場遊び	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
11月24日	みかん狩り	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
12月21日	宮ヶ瀬クリスマスツリー	三菱マイクロバス	つくし
1月19日	みどり園芝生広場遊び	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
2月20日	伊勢原市消防署南分署見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2月27日	伊勢原市消防署南分署見学	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
3月8日	よこはま動物園ズーラシア	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
3月19日	八景島シーパラダイス	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
3月22日	みどり園芝生広場遊び	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園

2023年度の課題に対する自己評価

引き続き施設間での公用車（マイクロバス等）、みどり園芝生広場、備品貸出の調整業務に取り組み、みどり園花壇農園での保育園さつま芋堀りの手伝い等を行う。法人内の公用車、備品、農園等を有効活用し、法人の活性化を図りたい。

⇒ 2023年度も各事業所がコロナ禍での外出等を模索したうえで、公用車（マイクロバス等）、みどり園芝生農園、備品等の貸出や、みどり園花壇農園でのさつま芋掘を実施することができた。次年度も園児・利用者が安心安全に楽しめるように公用車、備品、農園等を有効に活用したい。

